

## 同窓会会員数

(2009年4月現在)

旧高女卒	2,043名
旧因島高校卒	15,206名
旧因島北高校卒	7,852名
因島高校卒	1,758名
計	26,859名

定時制・分校卒業者含む



広島県立  
因島高等学校  
同窓会報

2009年7月30日発行

発行者 広島県立因島高等学校同窓会  
会長 小江 章  
事務局 尾道市因島重井町5574  
(因島高等学校内)  
電話(0845)24-1281  
FAX(0845)24-3585

<http://0845.boj.jp/doso/>



## 暑中お見舞い申し上げます

因島高校同窓会会長 小江 章



暑中お見舞い申し上げます。

因島高等学校同窓会のお世話をさせていただくようになって、因島高等学校の現状と地域の皆さんの因島高等学校に対する思いの差異を感じるようになりました。

かく言う私も同窓会の役員をするまでは、現実と異なった判断を

していました。

因島地域の中学校を卒業して、かなりの生徒が島外の高等学校に進学する現状があります。どこの高等学校に進学するかは生徒さんや、保護者が判断すれば良いこと

ではありますが、どうも判断が間違っているように思えて仕方がありません。

ハード面、ソフト面、そして近年の実績を見ても「なぜ」と思えて仕方ありません。

私がこんな話をするのもおかしな事ですが、気づいた者が、気づいた事を言うことが重要と考え、あえて書かせて頂きました。

同窓生の皆さん！地域の皆さん！因島高等学校の現状を正直に見て下さい。

今後、同窓会としていろんな事業に取り組んでいきたいと思っておりますので、ぜひ参加をしてください。

因島高校同窓会のホームページを開設しています。 <http://0845.boj.jp/doso/>

# 因島高校はみんなの母校

広島県立因島高等学校

校長 下木 伸 滋



因島高校は、平成22年にいよいよ創立90周年を迎えます。11月には、記念式典を計画しています。

さて、昨年度の会誌にも書かせていただきましたが、因島高校は土生の地に高等女学校として創立して以来、90年という長きに亘って地域のニーズや生徒数の増減等に応える形で多様な変遷を経て来ました。

従って、同窓生さんの中には、高等女学校の卒業生さんもうらっしゃれば、旧因島高校、因島北高校、分校、定時制、機械科の卒業生さんもおられます。現校長として赴任後しばらくの間少し心配していたのは、これだけ多様に姿を変えながら進化を遂げて来りながら、それぞれの時期の卒業生の皆さんが、現在の因島高校をどのように思っているのだろうかということでした。

例えば、高等女学校を卒業されている方は「私たちの母校は土生の高等女学校よ。」とお考えになり、現在の因島高校にはあまり強い関心を持っておられないというようなことが万が一にもありはしないだろうかというような心配です。

同じように、他の卒業生の方々のことも当然心配になりました。

しかし、その不安は半年もすると安心に変わりました。それは、確かに、戦前の高等女学校が戦後土生高等学校に引き継がれた後、地域の状況に応じて様々に分化はしていきましたが、「因島の高等学校」は時間や場所が異なっても常に「切れない一本の糸」でつながっているということを感じることができたからです。私がそう感じるようになったのは、昨年多くの同窓生のみなさんにお会いする機会を与えていただき、同時に色々なお話も聞かせていただいたお蔭です。それぞれに語られる熱い思いによって、私の不安は吹き飛ばされたのでした。

だから、現因島高校は90年間因島における後期中等教育を支えてきた全ての高等学校が「再結合」したものであると、私は確信するのです。

皆さん方の後輩たちは、現在、総工費60数億円のすばらしいキャンパスの中で勉学や部活動に充実した高校生活を送っております。

どうかすべての同窓生の皆さんに、後輩たちへのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## マラソン大会

完走などの目標を掲げスタートしました。

ゴールした生徒の顔は、皆晴れやかでした。



毎年恒例のマラソン大会が、2月6日(金)に実施されました。コースは因島高校をスタートし、男子は重井左周り一周の7キロ、女子は運動公園前を折り返す4キロのコースです。

当日は、2月とは思えない暖かな日差しと気温に恵まれた一日でした。一人ひとりが上位入賞、自己ベスト、



# 内海造船株式会社

取締役社長 森 弘 行

本社：瀬戸田工場／〒722-2493 広島県尾道市瀬戸田町沢226-6  
TEL(0845)27-2111 FAX(0845)27-2895  
<http://www.naikaizosen.co.jp>

因島工場／TEL(0845)22-6926  
東京支社／TEL(03)3761-6926  
中部営業所／TEL(052)581-1644

田熊工場／TEL(0845)22-1411  
大阪支社／TEL(06)6441-2071  
九州営業所／TEL(092)441-6811



上位入賞者(3位まで)と記録は以下の通りです。

- |    |    |       |          |
|----|----|-------|----------|
| 男子 | 1位 | 田頭 直裕 | (25分10秒) |
|    | 2位 | 上村 健介 | (27分35秒) |
|    | 3位 | 岡野 哲也 | (28分00秒) |
| 女子 | 1位 | 松村奈帆子 | (16分24秒) |
|    | 2位 | 平山 理恵 | (16分55秒) |
|    | 3位 | 村上 歩実 | (17分19秒) |

## ●●● 卒業式 ●●●

卒業式が3月1日(日)に挙行されました。  
この日に107名が新たにそれぞれの道に向け別れを告げました。

柏原将生生徒会長より送辞で「これから先も嬉しいこと、辛いこと、様々な事があると思います。うれしい事があった時にも、因島高校でのことを思い出してください。そして時間があれば、いつでも母校に立ち寄ってください。また、皆で語り合しましょう。」と述べました。



## ●●● 人事異動 ●●●

今年も人事異動があり、7名の先生が因島高校を離任され、新たに5名の先生をお迎えしました。

離任された先生と新しく赴任された先生は次の通りです。

### 〈離任された先生〉

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| 教 頭    | ／ 原 大二先生 (退職)        |
| 国 語 科  | ／ 田村 潤一先生 (瀬戸田高校へ)   |
| 地歴・公民科 | ／ 戸田 修三先生 (福山明王台高校へ) |
| 保健体育科  | ／ 東 功先生 (退職)         |
| 英 語 科  | ／ 楠 幸浩先生 (市立福山高校へ)   |
| 工 業 科  | ／ 岩原 秀俊先生 (総合技術高校へ)  |
| 工 業 科  | ／ 柏原 利夫先生 (退職)       |

### 〈新しくお迎えした先生〉

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| 地歴・公民科 | ／ 春木 武志先生 (府中高校より)   |
| 保健体育科  | ／ 曾根 幹雄先生 (賀茂高校より)   |
| 英 語 科  | ／ 神川 秀樹先生 (府中高校より)   |
| 工 業 科  | ／ 高橋 浩一先生 (宮島工業高校より) |
| 国 語 科  | ／ 迫 千恵先生 (福山葦陽高校より)  |

## ●●● 入学式 ●●●

入学式が4月7日(火)に挙行されました。桜の満開のさわやかな気候のなかで、新入生101名が入学し、この日から、因島高校の生徒としての新たな生活が始まりました。

入学式では、新入生代表の池田祥さんが「これからの学校生活で自分自身の進路をしっかりと決め、それに向かって努力し、同時に一人の人間として大きく成長することを誓い、決意の言葉といたします。」と述べました。



未来へ飛躍する!

## ユニバーサル造船株式会社

日立造船とNKKの船舶・海洋部門が統合して6年、ユニバーサル造船は、わが国造船界のリーディングカンパニーです!

因島事業所 事業所長 西潟外志勝

〒722-2393 広島県尾道市因島土生町2477番地16  
TEL:0845-22-1220 FAX:0845-22-0383



### ●●● 遠 足 ●●●

毎年恒例の遠足が、今年も5月1日(金)に実施されました。

当日は晴天に恵まれ、1年生は白滝山、2年・3年生はフェリーを貸し切って大三島と大久野島に行ってきました。



### ●●● 芸術鑑賞 ●●●

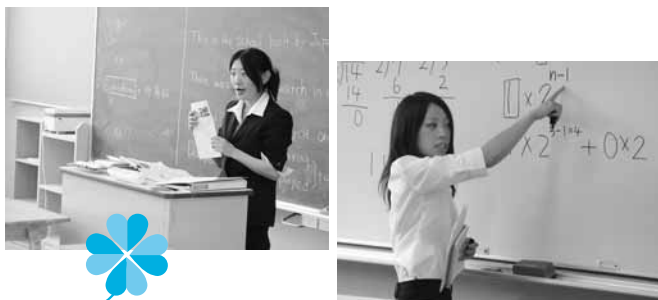
6月5日(金)に、本校体育館において、因島高校同窓会主催で《弦楽四重奏の調べ〜名曲コンサート》が行われました。プロの演奏家の弦が奏でる音に全生徒が聞き入り、楽しいひとときを過ごしました。



### ●●● 教育実習の先生 ●●●

6月に入り、本校卒業生の菊森詩織先生、大内香波先生のお二人の教育実習の先生をお迎えしました。

お二人の先生には、在校生に「因島高校を卒業して、今、思うこと」と題してお話をいただきました。



### ●●● 重井幼稚園来校 ●●●

毎年本校に来校していただいています重井幼稚園の皆さんが6月26日(金)に来校されました。

皆さんは校内を見学された後、本校在校生と昼食と一緒に食べました。



### ●●● インターハイ出場 ●●●

本校3年生の宮地健斗君が島根県の浜山公園で開催された第62回中国高校陸上競技対校選手権の男子円盤投げで第6位に入賞しました。8月に奈良県で開催されるインターハイの出場権を獲得しました。



## 「同窓会ゴルフコンペ」を 毎年5月4日と定め実施 することになりました。

今年、役員交代が行われ会長に近藤恭平(S49年卒)さん、事務局長に村上公俊(S49年卒)さんがなられました。ひきつづきよろしくお祈りします。

例年のコンペも、8月14日から今後5月4日に変更されますので、予定に入れておいて下さい。

前回の、上位成績者は下記の方々です。

#### 第10回 ゴルフコンペ上位成績

(2009/5/4 京覧カントリークラブ)

- 優勝 峰松 陽 (S45年卒)
- 準優勝 青木 正文 (S44年卒)
- 3位 村上 公俊 (S49年卒)
- 4位 宮地 俊行 ( )
- 5位 岡本 正之 (S38年卒)



※お問合せ 事務局 村上 公俊 (有)ナイスウエア内  
TEL0845-24-3128

# 恩師ルーだより<sup>〇〇</sup> シリーズ(5)



## 教師生活を振り返って

恩師 村上 敏明



同窓生の皆さん今日は、昭和27年土生高等学校を卒業、今年やっ  
と喜寿を迎えました。

私の教師生活は昭和31年全国でも稀な醸造科をもつ竹原高校安芸津分校でスタートしました。美味しいお酒に恵まれたことは、私の人生に大きな影響をくれて今日に至っています。

専任の体育教師は私が初めてとあって、分校長の言われた“ウチの庭はせまい上、何もないですけえのう”という言葉は今も尚耳の奥に残っています。何もないグラウンドに砂場をつくったり、体育施設や用具の整備に追われるのも楽しい日々でした。

無我夢中で8年の歳月が経過し、因島高校に赴任したのは東京オリンピックの開催された昭和39年でした。当時は55人学級の7クラス、普通科男子2クラス合併65人の体育の授業には大変苦労しました。

体育館はなく、狭い講堂を体育館がわりに使用するなど、施設は充分とは言えませんでした。校内の体育諸行事が極めて活発で、体育大会や各種球技大会の盛り上がりは素晴らしく、その伝統は今日尚引き継がれていることを頼もしく思っています。

私は一貫して、クラブ活動は陸上競技を生徒と楽しみ、優秀な生徒に恵まれて、数多くの全国高校総体を経験することができました。生徒と共にトレーニングに励んだお陰で、私自身も昭和55年、和歌山で生まれた第1回全国マスターズ陸上を皮切りに、退職前年宮崎で行われた第10回世界ベテランズ陸上に至るまで、数多くの大会に出場し、生徒引率を含めて、北海道から沖縄に至るまで全国各地の旅行は楽しい思い出となっています。当時竹中会長のご尽力で同窓会から寄贈されたトレーニング機器は、生徒にも、私にとっても貴重な存在でした。

そしてその機器は、今日立派なトレーニングルームに設置され、近年では日本体操界にあって活躍する田頭剛君をはじめ、今年陸上競技部では、父義昭君の後を追って、円盤投げで久しぶりに全国高校総体に出場する宮地健斗君を輩出するなど、生徒の体力向上に役立っています。

今後とも文武両道を目指して、母校因島高校が輝き続けることを祈ります。

私自身も、因島高校で得た貴重な体験を糧に、あせらずあきらめず頑張り続けたいと思っています。同窓生、そして地域の皆様、30年間ありがとうございました。

## つれづれに

恩師 阿世比丸忠士



1964年～1974年、因島高等学校 因北分校、因島北高校、1985年～1999年因島北高校で大変お世話になりました。最初の10年は全くの素人で始めた軟式野球部の顧問でした。岡崎恭治先生とタッグを組みグラウンド造りと千本ノックの毎日でした。そのせいか最近になって雨天の日は、膝や腰が痛むことがあります。

広陵、広商を倒し悲願の2年連続で全国大会出場することができました。その際には地元、同窓会、特に関西支部の方々には、物心ともに大きなご支援をいただき、感謝申し上げます。今でも当時の情景が目には焼きついております。汗と涙と感動をありがとう。

後半の10余年は、因島北高にとっても、因島が日立造船因島工場閉所による人口減、少子化の進行と大きく変貌する中で、因島高校との統合準備の時期であったと思います。統合については、両校の関係者が度々合同会議を開き、教職員の気持ちがほんと

うによくまとまってフロンティア精神を発揮したように思います。

退職後の私は、地域ボランティアを約10年させていただき、今年卒業いたしました。時には元同僚との温泉探訪、息子につれられてのメバル釣り、毎日の土いじりと元気にやっております。しかし、今後親の介護、兄弟の介護といろいろ考えさせられる今日この頃です。

お世話になった因島高校と同窓会のますますの発展を祈ること切である。



## 先輩こんにちは... シリーズ(3)

### 三菱ダイヤモンド・カップゴルフで「ツアー初優勝」

#### プロ17年目 勝利の実感。 すべてのひとに感謝！

プロゴルファー 兼本 貴司 (平成元年卒)

ゴルフを始めたのは高校1年から2年になるぐらいだと思います。家の近くにある因島ゴルフセンターがオープンしたのがきっかけで、そこでアルバイトするようになりました。初めはお金欲しさで始めたのですが、ボールを打っていくうちにゴルフにはまってしまいました。今までは、何をやるに対してもすぐ飽きる性格でしたが、ゴルフは今でも飽きていません。初めてのスコアが96。今まで100を打った事はありません。面白い。一日中練習していました。高校卒業する頃にはアンダーパーが出るようになり、直ぐ研修生でプロを目指しました。研修生になってからは、仕事がない時は、朝6時から夜8時まで練習しました。その4年後プロテストで一発合格。その1年後には、ツアー25試合を経験し、ジャンボ尾崎、後に僕の師匠となる中嶋常幸、そうそう

たるメンバーの中で戦いました。挫折も経験し、イップスも経験しました。

ゴルフというスポーツは、ある程度技術が成長すると、精神面と気持ちが80%をしめます。早い段階で優勝を経験しとかなないと気持ちに余裕が生まれません。7年間守ったシード権を落としますが、それを救ってくれた方が中嶋プロ。やはり練習するにも、私生活にも超一流を感じました。追求力が凄いのです。優勝するためには何をしたらいいかを常に考えて練習する方です。優勝するために練習して優勝するために食事を取り、優勝するためにスキーで足腰を鍛え優勝するために本を読み。とにかく優勝の土台をしっかり作る。考え方の違いに目からウロコ。自分を変えてくれたプロに感謝。環境を与えてくれたゴルフセンター、ゴルフコースに感謝、応援して頂いた方へ感謝、両親に感謝。だから三菱ダイヤモンドカップで優勝できたのだと思います。



### デビュー作「告白」本屋大賞を受賞

#### 因島のみなさまに 感謝の気持ちを込めて

湊 かなえ

デビュー作『告白』(双葉社)が刊行されて約1年たとうとしています。怒涛の一年でした。テレビ番組や新聞で取りあげていただき、年末ミステリランキングで上位に選んでいただき、第6回本屋大賞に選んでいただき、多くの人に本を手にとっていただくことができました。今年1月に『少女』(早川書房)6月に『贖罪』(東京創元社)と新刊を立て続けに出させていただくこともできました。取材依頼や執筆依頼もたくさんいただくことができ、心から感謝している毎日です。

しかし、一番感謝しているのは、刊行直後、まだ売れていない時期に応援してくれた人たちです。家族や近所の方々をはじめ、因島のみなさまには大変お世話になりました。なかでも、因北っ子の同級生たちには、言葉では表しきれないほどの思いがあります(作家なのに申し訳ございません)。3月末には盛大で心温まる出版記念パーティーを開いていただきました。懐かしい多くの同級生たちに背中を押

していただきました。作家という職業は楽しいことばかりではありません。何度も辞めたいと思った



ことがあります。それでもがんばろうと思えるのは応援して下さる人たちがいるからです。自分を受け入れてくれる故郷があるからということは何よりも心強いことです。

また先日、因島出身というご縁で、児童文学作家・八東澄子先生の最新刊『明日につづくリズム』(ポプラ社)に寄せる文章を書かせていただきました。

因島に住む中学生の女の子が家族や進路のことで悩みながらも、大好きなポルノグラフィティの活躍に励まされながら前を向いてがんばっていく、という内容です。すばらしい作品なので、因島のみなさん、特に十代の人たちにぜひ読んでいただければ、と思います。

今後とも、よろしく願いいたします。

## 東京支部

東京支部長 岡野 徹 (S33年卒)

東京支部総会も来年になり、そろそろ準備をと巻幡事務局長ほかと相談に入っています。いままで、故村上重美副支部長のご尽力にすぎっていた会場についても検討課題のひとつと考えています。

ローストビーフの東京會館などが候補ですが、値段も張るので閑散期、格安になればとか思案中です。工夫して魅力あるパーティーにしたいと思います。

私事ですが昨年古希を迎え、田熊の同級生達とお払いをしてもらい、これを機会にビジネスマン生活に終止符を打ちました。高校時代、宮地(信)先生から「これからは君達が日本の復興を図れ！」と檄を飛ばされ因島を離れて遊学し、経済界でしゃにむにがんばった半世紀でした。現在の東京支部の人達も共通の思いだったのではないのでしょうか。

いまや世の中はとんでもなくグローバルな時代に入りました。アメリカの金融不安がまたたくまに地球を駆けめぐり、強いはずの日本が100年に一度の不況という言葉で表現される有様です。このような不確実な「地球の時代」のなかでどうアイデンティティを保持できるかが国も地域もさらに個人も問われています。

最近、私も「グローバルとローカルの共存」とか「企業と地域の共生」というようなテーマで講演することが多くなりました。東国原知事の出現により一躍名前は全国区ですが、高度成長から取り残された宮崎県のなかで、唯一宮崎をルーツとする製造業として世界に飛躍できた企業から、なにかヒントを得ようとしているかと思えます。

ひどいのは島根県の隠岐島から「岡野さんも離島(?)の出身だそうで島の活性化に協力してくれ」といわれ「因島は橋付本土並」と野暮なセリフも吐かず後醍醐天皇配流の気分で行って来ました。

今年は因島からも話があり三庄のNPO法人と因島商工会議所で講演する機会を得ました。久しぶりの故郷でしゃべってうわずってしまいました。そのあとはカラオケで盛り上がりました。因島高校でも全国で活躍している人たちに帰ってきてもらいNHKの「ようこそ先輩」の因高版を企画してもらおうと思います。若いときの出会いが人生を決めることが多いような気がするからです。

そのなかで東京に行ってみるかという後輩が多くなれば、やや若手の人数が先細り気味な東京支部も活性化します。



## 関西支部

### 友の笑顔に心癒される集い

### 関西支部ひと月遅い新年会

関西支部事務局長・村上 福造 (S33年卒)

因島高校同窓生の皆様 100年に一度と言われる不況にもめげず、ご壮健にてご活躍のことと存じます。先般私たち関西支部は、ふくいくとした梅の香漂う2月



15日に恒例のひと月遅い新年会を、宝塚市に出かけ武庫川のほとりに佇む瀟洒なホテル若水で開催致しました。会場の選定、会費等、如何にすれば多くの方々へ出席して頂き、楽しんでもらえるのか。いつも思案するのですが、そこは各種行事、イベント等に経験豊富な知恵袋的存在の村上忠弘副支部長(36年卒)と柏原陽子事務局次長(43年卒)二人に的確な助言を頂き、今回も出席者66名と盛況でした。



当日は春本番を思わせる陽気に恵まれ品行方正の皆様にお天道様も微笑んでくれたようです。因島より遠路はるばる同窓会本部重鎮4名にご出席頂き、まず金子

征二郎支部長(39年卒)の年頭挨拶及び関西支部の近況報告に続いて、小江章会長(40年卒)より母校の現状説明で、総合学科も軌道に乗り、後輩達が常に志高く、素晴らしい環境のなかで、はつらつと勉学、スポーツ、文化活動に謹んでいるとの報告に、水軍根性と島育ちの心意気で、頑張れと心からエールを送りました。

近年は知育、体育に偏り過ぎて徳育「道徳、倫理観」自分を律する心の欠如を痛感致します。「後を絶たない大学生の大麻汚染、あさはかな行動や高学歴で地位ある人の不祥事等」

さて、六甲の山並や武庫川のせせらぎを眺めながら、春を器に盛り込んだような料理と、元気な再会を喜び合い、情報交換をして楽しい歓談の時を過ごしました。

各卒年の一年間の出来事等を報告。小江会長から土産として頂いた、万田酵素の化粧品をジャンケンでの争奪戦に、女性の美に対する憧れは終世不変のようで





す。(幾つになっても未だ心は乙女)それから顧問の竹中啓修さん(31年卒)が丹精込めて育てた伊予柑の味に、甘酸っぱい青春の思い出と忘却の彼方となった故郷の風景が浮かび、往きて帰らぬ日々の愛しさに感慨無量となりました。

しかしながら、かつて日立造船が活況な頃は多くの生徒で活気に満ち溢れていた、土生、田熊、三庄中学も少子化の為、廃校となり因南中学に統合されるとの村井弘明副会長(40年卒)の説明に、寂しさと驚きが交錯し、各校出身者が母校を偲んで、忘れかけていた校歌を懸命に思い出しながら歌う姿に愛惜を覚えました。食後は8階にある美人の湯として誉れ高い名湯で眼下に宝塚劇場を見ながら、宝塚ジェンヌに負けないようにとお肌を磨いたそうです。そんな中、若々しく好奇心旺盛な30年卒の嶋康恵さんのグループは、先日ロシアより帰国したにも拘わらず出席してくださり、この寒い時季に、なにを物好きだと感心しながら、これなら100歳まで同窓会を盛り上げてくれそうです。

我が母校、因島高校がいつまでも島の教養文化の要として、若者の夢と希望を育む学び舎で在り続けるよう、同窓会を通じて支援致しましょう。

皆様のお陰で、和気藹々と友の温もり、優しさを実感したひと月遅い新年会でした。

今後とも人の和を大切にする、関西支部をよろしくお願ひ致します。

## 広島支部

広島支部長 村上 雄蔵 (S35年卒)  
同事務局長 味沢 重明 (S45年卒)

全国の因島高等学校同窓会員の皆さま、お元気で過ごしのことと存じます。

広島支部は現在、役員、学生幹事を中心に広島支部総会に向けて諸準備をしているところです。全国の同窓生の皆さん!

10月25日には広島支部総会で結集しましょう!

広島支部のこの半年間の活動状況の概要をご報告いたします。

### 1. 支部活動状況

#### (1) 新年会の開催

本年2月「ホテルセンテュリー21広島」に於いて本部同窓会から小江同窓会長、村井副会長、荻野事務局長、竹中顧問のご臨席を頂き、36名の皆さまが参加され、盛大に開催しました。

村上広島支部長(35年卒)と来賓の挨拶後、味澤事務局長(45年卒)の司会で開始し、花岡副支部長(38年卒)及び小林副支部長(40年卒)から平成20年度事業

報告、平成21年度事業計画、第9回広島支部総会等について説明があり、本部・支部情報交換後、初めて参加された方の自己紹介と大先輩の



H21年1月25日(日)「ホテルセンテュリー21広島」の方々の挨拶があり、一旦休憩し、その間記念撮影をして、村井副会長の乾杯の音頭で懇親会に入りました。母校の現状、先輩、後輩、友人、知人等の近況を語り合い、懇談中に、CD(歌謡曲、漫談)の抽選もあり、当選者が発表されると大きな歓声が湧き、最後には矢野事務局次長(48年卒)の指揮により「みかんの花咲く丘」[故郷]



H21年5月31日(日)「ひろしま八雲」「星影のワルツ」を全員で合唱し、岡野副支部長(38年卒)の閉会の挨拶後、和気あいあいの内に懇親会を終え、会員相互の親睦を深めた次第です。その後、有志が会場を移し、各自得意のノドを披露しながら談笑し、楽しく新年会を終了しました。

#### (2) 常任委員会・学生幹事・有志会の開催

本年5月「ひろしま八雲」に於いて本年10月25日(日)に開催する第9回広島支部総会の諸準備・諸計画について会合を開き、前回の内容を踏まえ、役員改選、総会のスローガン、広島支部会員名簿の作成、総会用案内状、アトラクション、会場、会費等について、意見交換し、総会の参加者数の目標を、200名(前回の参加者173名)とし、参加者全員が主役となり、親睦と絆がより深まり、楽しい総会になるよう出席者全員が確認した会合となりました。

### 2. 支部同好会活動状況

#### (1) 第28回ゴルフ同好会の開催

本年4月、東広島CCに於いて、今回は久しぶりに小雨の中で開催。参加者は11名。遠路はるばる因島から河野重夫さん(31年卒)と福山から岡本正之さん(38年卒)がご参加下さり、花岡ゴルフ同好会会長の開会挨拶、幹事役の小林副支部長のルール説明等の後、静寂と緊張感が織り交ざった雰囲気の中、それぞれがスタート。プレー終了後のミーティングでは成績発表があり、雨のため(?)各自のスコアがいつもより悪く、疲労感が見られましたが、賞品を受け取るや否や笑顔に変わり、見事優勝カップを手にしたのは、花岡ゴルフ同好会会長でした。



H21年4月25日(土)「東広島CC」



(勝因はダブルペリアのためとの陰の声あり) 今回も参加者から沢山の景品の寄贈があり、表彰式を終え無事解散となりました。



H21年5月31日(日)「広島県立美術館」

## (2) 第95回記念光風会展への参加

今年の5月26日から5月31日まで、広島県立美術館に於いて開催の「光風会広島巡回展」に参加し、絵画、工芸を鑑賞しました。この光風会への参加は昨年から広島支部の活動の一環とし、光風会の理事をされておられます金山桂子先生(27年卒、東京在住)から事前に広島支部に招待状が送られ、絵画に興味を持っておられる有志の方がそれぞれ鑑賞しています。絵画部門は金山先生の作品『春の海』をはじめ3名の因島出身の方々の作品が展覧されていました。この誌面で恐縮ですが、いつも招待状を送ってくださる金山先生に厚くお礼申し上げます。



## 第9回広島支部総会のお知らせ

日時:平成21年10月25日(日)11時~15時  
 場所:ANAクラウンプラザホテル広島(旧全日空ホテル)  
 (広島市中区中町7-20)  
 会費:10,000円

スローガン【広島で会おう 語ろう 青春時代】  
 “やあ~やあ~ようこそ”“お久しぶりです お元気ですか”  
 “飲んで食べて大いに語りましょうや”

皆さまの方の多数のご参加をお待ちしています

広島支部のホームページ

<http://www21.ocn.ne.jp/~innoshima/>

## ふるさと便り



## 弦楽四重奏演奏会を開催

生徒・同窓生・PTAをお招きして初の試み

6月5日因島高等学校体育館で、ヴァイオリン奏者の上野眞樹さん、榎本陽子さん、ヴィオラ奏者の藤井雅枝さん、チェロ奏者の末永幸子さんをお招きし、モーツァルト作曲のアイネクライネナハトジークより第1楽章やドヴォルザーク作曲の弦楽四重奏曲「アメリカ」F-dur op. 96などの楽曲を演奏いただいた。演奏は先生方の協力をいただき在校生、同窓生、保護者を対象に金曜日の午後14時から在校生の午後の授業を割いて行い、たくさんの方々に楽しんでいただきました。

演奏会の開催にあたりヴァイオリン演奏者の榎本陽子さんの母親で因島高等学校同窓会広島支部副部長の榎本史江さんに大変お世話になりました。



## 島の味がいっぱい。「お魚バーガー」をどうぞ!

土生商店街の一角で、島の味いっぱいの『お魚バーガー』が販売されています。

『お魚バーガー』は、昔懐かしい「給食のコッペパン(児玉パン製)」に、近海で採れた白身の魚=太刀魚(タチウオ)をフライに揚げ、キャベツやタルタルソースなどと合わせ挟んだもので、一色鮮魚店(いっしきせんぎょてん)の店先で、1個=300円で、毎週土曜日と祝日に100個限定で販売されています。

『お魚バーガー』は、商店街の活性化をめざしての一品で、商店の「おかみさん達」でつくる『土生姫の会』の会長、児玉製パンの児玉正恵さん(H5年卒)と、副会長一色いづほさん(S59年卒)の合作です。

『土生姫の会』は、土生商店街をはじめ地域の活性化を目指して、いろいろな行事や他地区との交流などを行っています。



## 今年も『造船マン』122人が巣立つ。

日立造船因島工場内にある「因島技術センター」で、今年も122人の造船マンが巣立っていきました。

因島地域の基幹産業を支えてきた団塊世代の皆さんが定年を迎えられ、多くの方が退職をされています。

造船技術を次世代に伝えようと、全国に先駆け、因島周辺の会社と行政が運営協議会を設立させ、電気溶接や

ガス切断をはじめ、クレーンの玉掛け作業などの初歩技術を教え、今年で10年目を迎えています。

巣立った大半のメンバーが他の地域からこられた方々で、これから因島で居を構え、地域の発展のため頑張ってください。

# 2009年度因島高校同窓会スローガン

## テーマ 8月だヨ!全員集合



2009年度因島高校同窓会実行委員会  
実行委員長 寺西俊雄

因島高校同窓会の当番回生もあり、最近、因島高校へ行く機会が増えています。他には、因北小学校は、読み聞かせの役で、因北中学校は、PTA役員として、大浜町にある三原特別支援学校しまなみ分級は、学校薬剤師としてプールの塩素濃度測定や照度測定など、さまざまな学校に行かせてもらっています。

最近、学生時代に学校で学びきれなかった部分が、沢山あると感じています。こうして皆様あてに文章を書かせてもらうのも、今も学生時代もそうですが、大の苦手でした。最近、料理をしたり、絵や書を自己流ではじめたり、学生時代にやっていた卓球を中学生になる娘と再びはじめたりと、人生という大きな学校の中で少しずつ履修しているようにも思えます。普段の生活とは違う事をするのも楽しいですし、色々な発見があります。

以前、茂木健一郎先生の講演で聞いたときの話ですが、その時の演題は、「あなたの脳の無限の可能性」でした。『脳内物質のドーパミンを多く出せるようになれば、みんな天才になれる。天才は、すごく努力もしていることもお忘れなく。努力なくしては、成功はない。その話の前に人生の中には、予想できる事柄と突然の事柄とがあります。これらを総称して『偶有性』(ぐうゆうせい)という言葉があります。偶有性に耐えられる能力を脳につける事が重要です。それには、毎日計算ドリル・漢字ドリルなどの基礎学力をつけていく。また、総合学習を通じてコミュニケーション能力の向上・発想していく能

力の向上をすることで可能になっていくでしょう。ドーパミンを出すためには、ある問題があるとしましょう。あまりに簡単な問題であれば、ドーパミンは出ません。また、難しすぎる問題では、気力が損なわれます。各自にとって少し頑張れが達成できる問題を解いたときに達成感として出るのが、ドーパミンだそうです。』

講演の最後に【子供の時の遊びのように無我夢中になっているか？何歳になっても無我夢中で生きること。】をお勧めしますと言われました。人生は、もっとワクワク・ドキドキしても良いのかもしれないね。

今年の同窓会のテーマは、『8月だヨ!全員集合』テーマの意味は、『因島高校・因島北高校の卒業生を全員、呼びできないか?』から始まっています。もちろん物理的に全員をお呼びする事は無理ですが、一人でも多くの卒業生に出席を頂き【全員集合】の気持ちを感じて頂ければ幸いと思っています。

会員の皆様には、お盆というお忙しい時期ではございますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご出席下さいます様、お願い申し上げます。

当番回生一同、おもてなしの心を持って、お待ちしております。

### 因島高校同窓会

- 日時 2009.8.15 (土)
  - 総会 11時 特別講演会  
ユニバーサル造船株  
因島事業所顧問  
武智 公司
  - 懇親会 12時
- 場所 芸予文化情報センター
- 会費 2,000円



いよいよスタートです

2008年度  
**同窓会風景**  
ご協力ありがとうございました  
2008年同窓会実行委員会



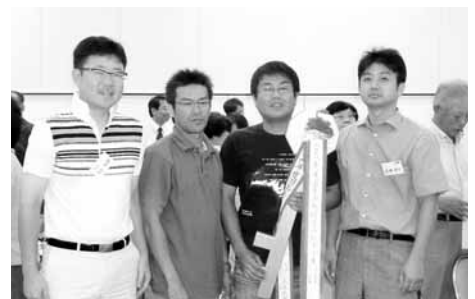
緊張の実行委員長



フラダンス



賑やかな懇親会



恒例の「鍵の伝達式」

JTB特定パートナー店・近畿日本ツーリスト提携店  
**(有)ITMツーリストサービス**  
 代表取締役 松浦 真博(S53年卒)  
 広島県尾道市因島土生町1899-31  
 TEL 0845-22-8888 FAX 22-7982

自動車販売・車検・損害保険  
**アイ・ビー車検株式会社**  
 代表取締役 村井 弘明(S40年卒)  
 尾道市因島重井町5798-1 TEL0845-24-3223

**株式会社 アコービレ**  
 代表取締役 小江 敦子(H6年卒)  
 尾道市因島田熊町1025-3  
 TEL 0845-22-6417

**カラオケスナック**  
**ラウンジ 吾妻**  
 東 優子(S36年卒)  
 尾道市因島土生町 TEL0845-22-8887

**株式会社 いまじ**  
 今治 孝之(S32年卒)  
 尾道市因島土生町2205

鮮魚・卸・小売  
**一色商店**  
 一色 伸良(S55年卒)  
 尾道市因島土生町1897-6 TEL0845-22-0115  
 (中央マート) TEL0845-22-2231

乗合バス・観光貸切・旅行業  
**因の島運輸株式会社**  
 取締役社長 村井 敏宏(S38年卒)  
 尾道市因島土生町2201 TEL0845-22-2171

医療福祉もお手伝い  
**因の島ガス株式会社**  
 代表取締役 村上 祐司(S39年卒)  
 尾道市因島田熊町5037 TEL0845-22-2222

**ふるさと因島再発見!**  
**社団法人 因島観光協会**  
 会長 村上 祐司(S39年卒)  
 尾道市因島土生町1899-31 TEL0845-26-6111

**因島機械株式会社**  
 代表取締役社長 村上 徳明(S40年卒)  
 広島県尾道市因島重井町4444  
 TEL 0845-24-2345 FAX 24-2346

**因島汽船株式会社**  
 代表取締役 村井 弘明(S40年卒)  
 **花園**  
 尾道市因島土生町1460-4  
 TEL 0845-22-2525  
 高齢者総合福祉施設

**因島金属株式会社**  
 専務取締役 兼本 勝一(S53年卒)  
 広島県尾道市因島重井町84-1  
 TEL 0845-25-1182 FAX 25-1183

**因島商工会議所**  
 尾道市因島土生町1809-20  
 TEL 0845-22-2211

園芸刃物製造  
**(株)岡恒鋏工場**  
 代表取締役 岡野 恒也(S59年卒)  
 尾道市因島田熊町18-1 TEL0845-22-2546

明るい笑顔と楽しい生活  
**(株)因島スーパー**  
 代表取締役社長 石川 英二(S42年卒)  
 中庄店 TEL 24-3111 田熊店 TEL 22-8556

飲料のことならあまかせ  
**(有)因島総合飲料**  
 代表取締役 浜岡 利治(S34年卒)  
 尾道市因島重井町5800-671 TEL 0845-24-1181


青いそよ風がお迎えにあがります  
**因島タクシー(株)**  
 代表取締役 藤井 康幸  
 広島県尾道市因島土生町2332-8  
 TEL 0845-22-2255 FAX 22-5993

**有因島中央青果 村上八重松商店**  
 代表取締役 永宗 敏(S41年卒)  
 広島県尾道市因島田熊町1087-1  
 TEL 0845-22-2121 FAX 22-6716

**因島鉄工業団地協同組合**  
 理事長 柏原 公生(S38年卒)  
 広島県尾道市因島重井町474-1  
 TEL 0845-25-1151 FAX 25-1158

**圓光産業株式会社**  
 取締役専務 圓光 幸治(S39年卒)  
 広島県尾道市因島重井町474-25  
 TEL 0845-25-1115 FAX 25-1181

メガネ・宝石・時計  
**有限会社 オオハシ**  
 代表取締役 大橋 靖三(S41年卒)  
 尾道市因島中庄町1985-4 TEL0845-24-3983

全国に花が贈れます  
 **やなぎや**  
 巻幡 臣持(H7年卒)  
 本店 TEL 22-8783 因島病院前  
 支店 TEL 22-8855 郵便局前

**岡野歯科クリニック**  
 岡野 主裕(S60年卒)  
 尾道市因島土生町1899-8 TEL0845-22-8962

**岡野登記測量事務所**  
 土地家屋調査士 岡野 隆一(S50年卒)  
 尾道市因島土生町1762-16 TEL0845-22-5130

味が自慢のイギリス食パン  
**(有)岡野製パン所**  
 尾道市因島田熊町1067-4 TEL0845-22-0564

 **(有)柏原工業**  
 代表取締役 柏原 信彦(S47年卒)  
 尾道市因島重井町5800-100 産業開発団地内  
 TEL 0845-24-0209 FAX 24-3281

各種二輪車・自転車販売・修理  
 車のことならなんでも……  
**柏原モーターズ**  
 代表者 柏原 功(S53年卒)  
 尾道市因島中庄町徳永 TEL/FAX0845-24-0046



アフラックのガン/保険代理店

**(有) 富喜商会**尾道市因島田熊町4970-12  
TEL 0845-22-3057

ゴルフ用品・各種ウェア・ユニホーム・ギフト

**(有) ナイスウェア**代表取締役 村上 公俊(S49年卒)  
尾道市因島重井町5119-3 TEL0845-24-3128**日昇無線株式会社**代表取締役 四辻 修(S48年卒)  
広島県尾道市因島重井町474-15  
TEL 0845-25-1178 FAX 25-1639因島・生名 - 三原間  
高速艇+タクシーセット券 **大好評!!****土生商船株式会社**代表取締役 弓場 丞(S45年卒)  
尾道市因島土生町1684-2 TEL0845-22-1337

HARISON CO.,LTD

**(株)ハリソン産業因島**代表取締役 幡地 正義(S46年卒)  
尾道市因島重井町5265 TEL0845-24-3050

保温・保冷・板金・築炉・耐火工事

**株式会社 橋本組**尾道市因島重井町5072-8  
TEL 0845-22-2066**ハイツ たがしら**

阪急京都線・淡路駅前

田頭 誠治郎(S28年卒)

尾道市因島中庄町天神722-2 TEL・FAX 0845-24-3093

**文化ハウス**

阪急千里山線・下新庄駅前

確かな技術力と高い信頼性のテクニカル企業

**ビー・シー保全工業(株)**尾道市因島重井町5800-74  
TEL 0845-24-0242

水中工事施工

**株式会社 備後海事**代表取締役 村上 涼司(S39年卒)  
広島県尾道市因島重井町5803-3  
TEL 0845-24-1915 FAX 24-2232カーテン・室内装飾  
寝具品・京呉服**有限会社 ふじい**尾道市因島土生町2257-1  
TEL 0845-22-2227**藤原司法書士事務所**司法書士 藤原 浩二(S53年卒)  
尾道市因島田熊町1932-1 TEL0845-22-1370

文具と事務機・OA機器・ギフト・日用雑貨

**(有) 二神愛國堂**取締役社長 二神 悠嗣(S59年卒)  
広島県尾道市因島土生町1899-22  
TEL 0845-22-1485 FAX 22-8014

塗装工事(船舶・建築・機械)全般/足場工事一式

**有限会社 平成塗装**代表取締役 野田山 強(S44年卒)  
広島県尾道市因島重井町4855-1  
TEL 0845-24-3026 FAX 22-6101

婦人服

**splendeur  
ホンゴー HONGO**

尾道市因島田熊町 TEL0845-22-0535

**本四バス開発(株)**代表取締役 吉川 清忠  
広島県尾道市東御所町11-15  
TEL 0848-25-5571 FAX 25-5574**マキハタ機工**代表者 巻幡 伸一  
尾道市因島中庄町2120-2 TEL0845-24-1185

配管・建築業

**(有) マサキ工業**代表取締役 金山 政輝(S41年卒)  
尾道市因島三庄町4区 TEL0845-22-8780**松浦登記測量事務所**土地家屋調査士 松浦 康之(H2卒)年  
尾道市因島中庄町3130-1 TEL0845-24-1897**有限会社 マツ建工**代表取締役 松下 隆盛(S38年卒)  
尾道市因島重井町992-1 TEL0845-25-1757**松村金属有限会社**代表取締役 松村 和弘(S52年卒)  
松村 重子(S43年卒)  
尾道市因島田熊町5049 TEL0845-22-2294**株式会社 丸扇技行**取締役 岡野 敬一(S45年卒)  
広島県尾道市因島中庄町3880-1  
TEL 0845-26-2256 FAX 26-2245**万田発酵株式会社**代表取締役会長 松浦新吾郎(S38年卒)  
代表取締役社長 松浦 良紀(H元年卒)  
因島重井町5800-95 TEL0845-24-3555FAX26-2034  
ホームページアドレス <http://www.manda.co.jp/>

真心のこもったサービス

**ホテル みやじま**Hitz総合サービス株式会社  
(因島)土生町2562-1 TEL(0845)22-1450(代)

写経会と水子供養

**妙見山 明徳寺**尾道市因島三庄町1945  
TEL 0845-22-0933

心のかようファッション広場

**ムラカミ**株式会社 ムラカミ  
代表取締役 村上 稔(S30年卒)  
尾道市因島土生町1899-97 TEL0845-22-2383

出光興産販売店

**村井石油株式会社**本店 因島土生町2257-1 TEL0845-22-0742  
因島S S 因島土生町18-1 TEL0845-22-0041  
中庄S S 因島中庄町646-8 TEL0845-24-0162

### 村上司法事務所

司法書士・土地家屋調査士 村上 正則(S51年卒)  
行政書士 村上 恭子(S51年卒)  
尾道市因島土生町1762-28 TEL0845-22-5634

### (有)村上造船所

代表取締役 村上 善彦(S53年卒)  
尾道市因島土生町1894-3 TEL0845-22-0317

### 村上溶材株式会社

代表取締役 村上 威(S43年卒)  
広島県尾道市因島重井町5657  
TEL 0845-24-2222 FAX 24-2884

総合建設業

### 有限会社 村田建設

尾道市因島土生町1052-6 TEL0845-22-6447

### 有限会社 メイセイ

取締役社長 西岡 健二  
広島県尾道市因島重井町5800-126  
TEL 0845-24-2648 FAX 24-2649

浄化槽管理・清掃・修理

浄化槽保守点検登録業者・広島県4第0817号



**モリワキ工業**  
〒722-2323 尾道市因島土生町1784-8  
TEL 0845-22-9176  
FAX 0845-22-9177

不動産業

### 山幸不動産

代表者 岡野 敏郎(S56年卒)  
尾道市因島田熊町港区 TEL0845-22-9596

YOUNG SUN.  
TOTAL FASHION ACCESSORIES

### ヤング産業株式会社

広島工場・物流センター/〒722-2102 広島県尾道市因島重井町5800-22  
TEL (0845) 24-3331(代) FAX (0845) 24-3339  
本社/大阪 支店・営業所/ロサンゼルス・ローマ・香港  
<http://www.young.co.jp/>



有限会社

### ラクフット

〒722-2322 広島県尾道市因島三庄町387-2  
TEL 0845-26-2201

## 広告掲載のお願い

同窓会の会計は、毎年120人程度の入会金(一人=3,000円)と会報誌1,200部(5年=3,000円)の購読料で運営されており、諸行事の開催や各支部への交付金などで単年度では赤字となり、それを補うため繰越金を使用してきました。

このような中、本部役員会で同窓会会報誌に広告を掲載(100万円)することを決め、収支改善を図ることとしました。

こうした状況が諸先輩の方々に届かず、特定された範囲での広告掲載となり、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

広告掲載をいただける方を引き続き募集しておりますので、ご協力いただける方は、是非、下記の者までご連絡ください。ようお願い申し上げます。

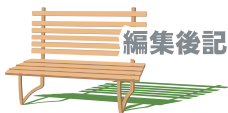
会長 小江章、副会長 村井弘明・江嶋昭吉・村上富男・村田幸治



## TV番組『なんでも鑑定団』収録される

本年6月7日(日)にテレビ番組『なんでも鑑定団』の収録が、因島市民会館大ホールにおいて行われました。

放送は、テレビ東京で7月21日、広島テレビで8月2日16時25分となっていますが、会報誌が届く頃には放送後となっているかもしれません、再放送をお楽しみ下さい。



編集後記

設立90周年を間近に控えた母校は、現役生徒や先輩諸兄が活躍した横断幕が飾られ賑やかだ。アメリカ経済の異変によって国内景気もおかしくなり、「造船の島」も仕事のスローダウンが始まってきたが、母校は着々と成長を続けている。

母校の成長とともに因島地域の発展もある。120名の卒業生の内、1/3程度が就職するそうだ。今年は特に不況から進学希望者が増えたそうだ。

島の外で学び、そして活躍し、本土や大陸の文化を持ち帰ってほしい。地域の発展のためには、母校のスケールアップと異文化の注入は欠かせない。

## 事務局だより

事務局長 荻野康彦 (S40年卒)

尾道市となって3年が過ぎ、因島も少しずつ変わってきていますが、ご購入の皆様方はお変わりございませんか。

毎年8月のこの時期、因島での同窓会総会を行っています。近年の出席者数は一時期に比べ少なくなったとの言葉を何度か伺いました。総会・懇親会は、当番回生の協力を得て取り組んでいますが、事務局の役割が十分でないこともあり、今後は反省をふまえて対応していかなければならないと考えていますので、引き続き会員の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の今後益々のご健勝を祈念申し上げます。事務局だよりとさせていただきます。